

若 樹

杉並区立東田中学校

全校朝会より

校長 鳥居 利至

1 視覚情報の話

「話を聞くときは相手の目を見なさい。」と言われてきましたよね。これは、マナーとしてという意味もありますが、人間同士がコミュニケーションを取るときに相手の言いたいことを正確に聞き取るためには視覚情報が重要な役割をはたしています。ということが、多くの研究で明らかになっています。中でも有名なのがアメリカの心理学者の研究で、言語よりも非言語的なものの方が多くの情報が伝わりと言うメラビアンの法則があります。この中で人と人とのコミュニケーションにおいて、言語情報7%、聴覚情報38%、視覚情報55%のウェイトで影響を与えているという法則です。裏を返せば、コミュニケーションをとる時に、相手を見ないと実に半分以上の非言語の貴重な情報をのがしていることになります。コミュニケーションを取るときには、情報をより正確に把握するためにも、相手を見て話しをした方が良いでしょう。

2 議論する力

最後に、みなさんに是非身に付けてほしい力についてお話をします。以前みんなの発表する力はすばらしいという話をしました。似たような力に感じますが議論する力はどうでしょう。力を発揮する場面も少ないこともありますが、とても良くできるとはいえません。これは東田中の生徒に限らず日本人の傾向として不得意な力だと思います。同調する場合はまだしも、反論を述べて理路整然とお互いに感情的にならず議論する力です。まずはきちんと反論を言うことから始めましょう。周りの人たちも勇気を持って反論を言った人をたたえるような雰囲気をもてるといいですね。まずはこの程度のことからはじめてみましょう。どんな意見をもっている敵になるわけではありません。むしろ同調圧力が強く自由に発言できないところに不自由さや限界を感じてしまいます。これからのグローバル社会に必ず役に立つ力だと思います。ぜひ身に付けて、大きく成長してください。

「SOSの出し方」講演会

6月6日(木)、「SOSの出し方」講演会を実施しました。「子供が、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動（身近にいる信頼できる大人にSOSを出す）ができるようにすること」、

主催:風のとびら

「身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようにすること」が目的です。

心のケアステーションすぎなみ [instagram](#)

当日は、「風のとびら」代表の飯田佳子様にお越しいただき、貴重なお話を伺うことができました。



職場体験（2年生）

6月28日(水)～30日(金)「職場体験」が実施されました。短い期間でしたが、普段はできない貴重な体験となりました。この体験を通じて、どのようなことを感じたでしょうか。お世話になった事業所の方々への感謝の気持ちを持ち、今後の生活も頑張りたいと思います。



杉並区中学生レスキュー隊発足式及び合同訓練

7月17日(水)杉並区中学生レスキュー隊発足式及び合同訓練が実施されました。本校からは、5名がレスキュー隊員となり、

当日は、会場の都合で代表3名が参加しました。人のために何ができるかを考え、真剣に訓練を受けてきました。

令和6年度東田中学校

レスキュー隊員

3年

2年

1年